

【様式 02】 高大連携公開講座シラバス

* 科目 No.	40202
----------	-------

1. 開設大学	福山大学 薬学部	開催方法 (キャンパス・施設)	<input checked="" type="checkbox"/> 対面 (本学) <input type="checkbox"/> オンライン (同時・録画)			
2. 科目名	薬剤師の仕事					
	学問分野	番号	34	名称	保健 (薬学)	
3. 担当教員	五郎丸 剛、町支 臣成、大西 正俊、松岡 啓輔					
4. 開講期間 (曜日)	令和 8 年 8 月 5 日 (水)					
開講時間	10 時 00 分 ~ 14 時 50 分 (50 分 × 4 回)					
個別開講日	1 回目 /	2 回目 /	3 回目 /	4 回目 /	5 回目 /	6 回目 /
5. 募集定員	20 人 (受入学年 : 定員超過の場合は高校 3 年生を優先)					
6. 科目内容・授業計画	<p>【概略】薬は、古くから人々の健康を守り、生活を豊かにしてきた。近年においても高血圧や糖尿病などの生活習慣病やがんをはじめ、様々な病気を治すためになくはないものになっている。一方、意外かもしれないが、薬の開発は植物や動物さらには微生物などに含まれる毒から生まれたものが多くある。それゆえ、使い方を誤ると人の健康を害するものにもなってしまう。「クスリはリスク (=危険)」といわれる所以である。</p> <p>薬剤師はこのような薬を患者が安全に使えるように薬が効くメカニズムを把握している。また、同じ薬を同じ量使ったとしても患者によっては効かないことがあるため、その人が置かれている状況を踏まえた上で、使用量や使用方法を分かりやすく説明している。</p> <p>本講座は薬についての一般概要を学んだうえで、薬剤師が患者さんにどのような事を考えた上で薬を渡しているのか、また医療における薬剤師の役割はどのようなものか理解を深める。</p> <p>10 : 00 ~ 10 : 50 クスリはどのようにして開発されてきたのか? (担当 : 町支) 11 : 00 ~ 11 : 50 薬が効くメカニズム (担当 : 大西) 13 : 00 ~ 13 : 50 薬の相互作用 (担当 : 五郎丸) 14 : 00 ~ 14 : 50 患者さんの生命を握る薬剤師の実務 (担当 : 松岡)</p>					
7. 受講料	無料					
8. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) なし					
9. 開講条件 ※1 ない	① 最少開講人数 () 人 定員超過の不許可は選考により決定					
	② 不許可・不開講通知日 : 6 月末まで					
その他特記事項	受講者についての制限事項、オンライン (同時・録画) の使用ソフト、受講時の注意など 集合場所 : 本学キャンパス 34 号館医療薬学教育センター1 階ロビー					
開設大学への交通手段	https://www.enica.jp/ 開設大学のホームページにジャンプして確認してください。					

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。